

2020年7月22日

各位

アジア開発銀行発行のジェンダー・ボンドへの投資について


株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）は、アジア開発銀行（以下、ADB という）が発行するジェンダー・ボンドへ総額 30 百万米ドル（約 32 億円）の投資を実施いたしました。

本債券は、ジェンダーの平等化及び女性の社会進出を支援する活動を重要な投資の目的とし、ADB が山形銀行のみを対象として私募債形式で発行するものです。また、ADB が発行するジェンダー・ボンドの購入は、当行が地方銀行初となります。

当行は、本債券への投資を通じて ADB が展開するジェンダー関連のプロジェクトを含む持続可能な開発目標（SDG s）を達成するための活動を資金面からサポートいたします。今後も、当行は持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

記

【本債券概要】

投資に係る 重要テーマ	女性の社会進出を支援する活動 
発行額 / 期間	30 百万米ドル（約 32 億円） / 10 年
発行体	アジア開発銀行（長期債務格付：Moody's「Aaa」、S&P「AAA」、 R&I「AAA」、JCR「AAA」）

【アジア開発銀行について】

アジア開発銀行（Asian Development Bank）は、世界最大級の貧困層を抱えるアジア太平洋地域での貧困撲滅のために尽力しつつ、同地域が豊かで、誰も排除せず、柔軟性及び持続性を持つ地域となるよう取り組みを続けています。1966 年設立の国際機関であり、同地域に所在する 49 のメンバーを含む 68 の国や地域の出資により成り立っています。ADB はアジア太平洋地域の途上国支援のため、政策対話、融資、株式投資、無償支援、保証、技術協力の提供を主な業務として行っています。

ADB は「ストラテジー2030」に基づき、7 つの優先事項に沿った活動を推進しており、その優先事項のうちの 2 つに「ジェンダー平等の推進」や「気候変動への対応、防災、環境面での持続可能性の向上」への取り組みがあります。これらの目標は国連の「持続可能な開発目標(SDG s)」とも連携しています。

以上

本件に関するお問い合わせ先
広報室 豊原
T E L 023-623-1221（代表）